

恵庭市長定例記者会見（R7. 3. 24）



お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、第1回定例会が終了しましたので、議会を終えての所感、並びに今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、「令和7年度一般会計予算」などについて審議いただきました。その全ての議案についてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

初めに、「恵庭市中小企業等振興融資制度の見直し」についてであります。

見直し内容としては、利率を北海道の融資と連動する形に変更し、一般事業資金の運転資金の融資期間3年間のものにおいては、

1. 8パーセントから1.6パーセントにするなど、各区分に共通して利率を0.2パーセント引き下げるほか、経営安定資金を廃止し、一般事業資金及び小口事業資金のうち、運転資金の上限額を2,000万円に引き上げることにより、融資制度をわかりやすい体系に改めることといたしました。また、全ての融資において信用保証料の補給をすることといたします。

これらの見直しを行ったことにより、中小企業等振興融資が利用しやすくなりました。

4月1日以降から見直し後の制度が適用されますので、市内の多くの中小企業者に利用していただきたいと考えております。

2点目は、「ルルマップ自然公園ふれらんど」についてであります。

「ルルマップ自然公園ふれらんど」は、4月1日より、公園の管理運営内容が変更となります。変更に伴い、「パークゴルフ場」は閉園となりますが、「ソフトクリーム工房ルル」や「フォレストアドベンチャー」は営業を継続する予定であります。また、本年度も引き続き、4月下旬には、「市民農園」や「多目的芝生広場」のサッカ

一利用を開始する予定となっております。なお、多目的芝生広場のサッカー利用に係る予約などの問い合わせにつきましては、窓口が恵庭市経済部花と緑・観光課に変更となっております。

また、「パークゴルフ場」の閉園に伴い、昨年9月にプレオープンしました「盤尻パークゴルフ場」は、本年4月下旬にグランドオープンを予定しており、多くの方々に楽しんで利用していただけるよう取り組んで参ります。

3点目は、「**証明書の休日交付窓口の縮小**」についてであります。

現在、年末年始を除く市役所閉庁日に開設している住民票の写しおよび印鑑登録証明書の休日交付窓口について、4月1日より、毎週土曜日及び12月29日、30日の開設に縮小いたします。

市民の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解の程お願いいたします。

また、マイナンバーカードをお持ちの方であれば、コンビニエンスストアなどで24時間証明書が取得可能となっております。手数料もお安くなっておりますので、こちらもぜひご利用ください。

4点目は、「**自転車安全対策推進事業**」についてであります。

令和7年度より、自転車用ヘルメット着用率の向上を図り、交通死亡事故のリスクを低減させるための2つの事業について、恵庭市交通安全運動推進委員会の協力により実施いたします。

はじめに、「自転車用ヘルメット普及促進モニター事業」として、4月に65歳以上の市民モニター25名を募集します。モニターの方には、6月に無償配布する自転車用ヘルメットを着用していただくことで、ヘルメット着用の重要性を理解いただき、また周囲への着用の機運醸成も図るものです。

つぎに、「自転車用ヘルメット購入費助成事業」として、市内の小学生以下の子どもを対象に、ヘルメット購入費の一部を助成し、購入者の負担軽減を図ります。対象となるヘルメットは、市内の店舗で購入した安全認証を受けている新品のもので、助成の対象個数は先着100個、上限額は3,000円となります。申請は、5月から11月末までの期間、電子申請や郵送・窓口などで受付いたします。

5点目は、「**高齢者補聴器利用促進モデル事業**」についてであります。

補聴器の利用による日常生活におけるコミュニケーションの質の向上や、認知機能低下の防止などを目的に、補聴器の購入などに要する費用の一部を助成します。

なお、本事業は令和7年度から2年間のモデル事業として実施し、対象者は、市内の満65歳以上の方で、身体障害者手帳の交付の対象とならない中等度程度の難聴高

齢者です。助成額は、助成対象費用の額に2分の1を乗じた額で、5万円を上限とするものであります。

本年4月より事前申請の受付を開始し、5月より購入後の申請受付を開始する予定です。

6点目は、「**歯科休日当番体制の見直し**」についてであります。

千歳歯科医師会において千歳市、恵庭市及び北広島市を診療範囲として実施しております「**歯科救急診療（休日歯科当番）**」について、歯科医師の高齢化やスタッフの確保ができないことなどにより、当番を担当する歯科医院が減少していること、また、歯科救急の患者数が減少傾向にあることなどから、4月から日曜日の輪番制を廃止することとなりました。なお、祝日及び年末年始（12／30～1／3）の歯科救急診療につきましては、これまでどおりの診療体制を継続します。

7点目は、「**带状疱疹ワクチン接種費用助成**」についてであります。

厚生労働省より各自治体に対して「令和7年4月1日より带状疱疹を予防接種法の定期の予防接種を行う対象疾病に追加すること」との事務連絡があったところであり、本市においても4月1日より带状疱疹ワクチン定期接種を実施いたします。

接種対象者は、令和7年度においては、年度内に「65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方」、及び「令和7年度のみ100歳を超える方」、また「60歳から64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある身体障害者手帳1級に該当する方」といたします。

接種回数は、生ワクチンで1回、組換えワクチンで2回を接種する必要があり、接種にかかる費用の半額を助成します。本人の自己負担額につきましては、それぞれ接種費用の半額にあたる、生ワクチンは「4,400円」、組換えワクチンは1回あたり「11,000円」といたします。

8点目は、「**令和7年度 恵庭市行政組織機構**」についてであります。

組織機構の見直しにつきましては、従前より、「現行の機構・ポストを基礎とし、現有の職員数の範囲内でヒアリングの要望に対応していくこと」を前提条件としております。

つぎに、組織機構の主な見直しの内容についてご説明いたします。

企画振興部につきましては、理事を廃止し、まちづくり推進課から移住定住業務などの一部業務を企画課に移管しました。

経済部につきましては、都市計画マスタープランの見直しにより、新市街地開発を推進するため、まちづくり拠点整備室から新市街地業務を経済部に移管し、経済振興室を新たに設置しました。

建設部につきましては、業務効率化のため、建設部公園緑地課を管理課に、事業調整課を土木課に統合し、それぞれ主幹職を配置しました。

また、技術職を効果的に活用するため、まちづくり推進課から建築相談業務を建設部に移管し、建築指導課を新設しました。

以上で、私からの発表は終わらせていただきます。

引き続き、教育長からの発表があります。

(教育長から発表)

私からは、「基線跨線橋供用開始に伴う黄金南地区のスクールバスの運行終了」についてご説明いたします。

このたび基線跨線橋の架け替え工事が完了し、3月7日から供用開始となりました。

これまで教育委員会として、通学上の安全確保の観点から黄金南地区において、スクールバスを運行しておりましたが、工事完了に伴い、安全確保の確認を持って今年度で黄金南地区の運行を終了いたします。

このことにつきましては、毎年開催されている和光小学校の新入学児童の保護者説明会の場で保護者にお知らせし、市のホームページでもお知らせしてきたところであります。

また、町内会回覧のご協力を得て、地域にお知らせするとともに、3月7日には、通学路の合同点検も実施したところであります。

今後につきましても、学校や関係機関としっかりと連携し、児童生徒の通学路の安全確保をしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

●質疑応答

発表項目について

(記者) 恵庭市中小企業等振興融資制度の見直しについて、経営安定資金の廃止は利用者が少なかったということか。

(次長) そのとおり。

（記者）自転車安全対策推進事業について、市内でのヘルメット着用率はどれくらいか。

（課長）市内スーパーで観測したところ、１０％を下回る結果となっており、北海道が公表している着用率も１０％程度とのことだったので、約１０％と認識している。

（記者）モニター事業のモニターには、具体的にどのような活動をしてもらうのか。

（課長）駅前や学校前で行なっている交通安全の啓発活動への参加やセーフティーコールへの参加を促すことを予定している。自転車に関する活動だけではなく、交通安全運動全般を考えている。

（記者）高齢者補聴器利用促進モデル事業について、オンラインでの購入は対象外としている理由は。

（課長）本人にその補聴器が合っているかを実店舗で確認してもらう必要があるため、オンラインでの購入は対象外としている。実店舗であれば市内外どちらの店舗でもかまわない。

（記者）何人程度の助成を見込んでいるのか。

（課長）１００人分の５００万円を予算計上している。

その他について

（記者）ラピダスの試作ラインが稼働するということで、恵庭市としてはどのように考えているか。

（市長）千歳市を中心とした経済的な良い影響があるのではと考えている。ぜひ成功してもらいたい。

（記者）現段階で恵庭市として実感する影響はあるか。

（市長）ラピダスの社員向けに、恵庭市が提供可能な住まいなどの説明会を開催した。既に恵庭市に住んでいるという社員もいたので、少なからず影響は感じているところである。これから、社員や関連する外国人などの受け皿になれるよう準備を進めていきたい。

以 上